

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A		
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進		作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31		
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	高橋 直資	担当者	公共施設マネジメント担当		
取組年度	H28	～	R2						
効果	その他改善								
最終目標	<p>公共施設等の老朽化対策の推進により、「財政負担の軽減・平準化」及び「公共施設の最適な配置」を実現するため、公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組を進める。成果指標については、「基本方針編」の数値目標※を踏まえ、公共施設の総量とする。なお、市の総人口は今後10年程度増加傾向が続くものと見通されており、「基本方針編」では、財政負担の抑制を図りつつ、必要に応じて施設の再整備や新規整備等も行いながら、行政サービス機能の確保に努めることとしている。このため、計画値については、平成26年度末時点の数値を目安として設定する。</p> <p>※計画における数値目標：建築別系施設の施設総量（延床面積）の縮減について、将来推計人口を踏まえて段階的な取組を進め、今後40年間で13%縮減することとしている。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定した。							
平成29年度	計画どおり	個別施設計画の全体計画（骨格部分）を担う個別施設再編方針の素案を作成。							
平成30年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「個別施設再編方針」を策定した。							
令和元年度	計画どおり	「個別施設再編アクションプラン」を策定した。							
令和2年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づき取組を進めた。							
成果指標	指標名	前年度末における公共施設の総量（基準年度の数値を目安に総量抑制を図る）					単位	㎡	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	
	変更計画値							0	
実績値	786,111		787,003	789,197	799,535	800,341	800,341		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)		公共施設等の 安全性確保と 市民ニーズに 合わせた行政 サービスの提 供	同左	同左	同左	同左		

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A	
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	高橋 直資	担当者	公共施設マネジメント担当	
	区分	取組内容・目標					
令和2年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づき取組を進めた。					
取組項目		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	公共施設マネジメント推進会議の運営	○	○	○	○		
2	モデル事業の検討・推進	○	○	○	○		
3	個別施設再編アクションプランによる取組の進捗管理			○	○		
4	市民向けの説明(出前講座形式など)	○	○	○	○		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメント推進会議による検討等を通して、柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」等に基づいた進捗管理を行っている。 公共建築物保全情報システムにより、各施設単位の情報について整理、確認作業を行い、庁内の横断的な情報共有のための事務を進めている。 			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	前年度末における公共施設の総量(基準年度の数値を目安に総量抑制を図る)		計画値	単位 m ² 788,067	実績値	単位 m ² 800,341
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	<p>本年度の実績について、1年間という短期的な視点では達成できていないことになるが、公共施設等総合管理計画に基づく取組は、今後40年間を見据えた長期的な取組であり、40年間で施設総量の13%を縮減することを目標としている。そのため、今年度は、「個別施設再編方針」で定めた今後40年間における個々の施設の再編の方向性を具体化し、時期の見通しを整理した「個別施設再編アクションプラン」を更新し、目標達成に向けた取組の推進と進捗管理を行った。</p>			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
計画値							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	個別施設アクションプランの進捗管理等を適切に行い、個別施設再編方針に沿って統廃合等がより促進されるよう鋭意取り組みたい。			
	方向性	継続実施					

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室	責任者	高橋 直資	担当者	営繕担当建築保全担当			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	計画どおり	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事を実施した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	中長期保全計画及び保全方針等について関係部署との協議			○	○	○	○		
2	短期保全工事計画更新(施設所管課・財政課等との調整, 次年度工事選定)			○	○	○	○		
3	施設所管課へ日常・定期点検実施依頼及び結果取りまとめ			○			○		
4	市有建築物現地調査及び建物情報システム入力				○	○			
5	予防保全工事の設計			○	○	○	○		
6	予防保全工事の実施			○	○	○	○		
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各取組項目とも計画どおりに進んでいる。 項目1, 2については, 企画財政部門及び施設所管課と協議し短期保全工事計画(案)を作成した。保全工事を効果的計画的に推進するためには, 関係部署との協力体制・合意形成が必要なため, 引き続き良好な関係づくり仕組みづくりに努めていく。 現地調査(施設状況調査)は, 経年による劣化進行を継続的に把握するために, 3年に1度は調査を実施できるよう調整する。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	予防保全工事の実施件数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					33			32	
	達成状況【成果】	一部達成		コメント	<ul style="list-style-type: none"> 予定していた予防保全工事のうち, 今年度の設計業務委託での検討結果により工事実施可否の判断が必要であった1件を除き, 計画通り実施することができた。(上記1件は契約済み, 令和3年度8月に完了予定) 各取組項目についても概ね計画通りに実施することができた。 保全工事計画を実効性の高い計画とするために, 引き続き関係部署等との協議を重ね, 改善を図っていく予定である。 				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容			コメント					
	計画値								
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	今後とも継続的に取り組まれない。なお, 短期保全工事計画については, 経年劣化状況や利用状況等を踏まえながら, 実態に即した実行性のある計画となるよう適宜見直しするなど, 柔軟に対応されたい。				
	方向性	継続実施							

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A	
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画		作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課		責任者	小貫省三	担当者	藪崎慶子	
取組年度	H28	～	R2					
効果	その他改善		歳出削減					
最終目標	<p>・アミュゼ柏クリスタルホール、プラザの舞台照明、音響設備の改修</p> <p>・市民文化会館の空調設備改修工事、舞台床修繕</p> <p>・上記修繕工事を適切に履行するため、次期指定管理者への募集に対し、工事対応のための休館など一定程度の運営条件を策定する。（次期指定管理者選定時に、契約期間中の施設休館に対する歳入の減少並びに（人件費）支出抑制への対応策の提案を募集する。）</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	次期指定管理者募集の方針を定め、老朽化等を踏まえた修繕計画を作成した。						
平成29年度	計画どおり	次期指定管理者を選定した。また、次年度の修繕に関する設計委託（アミュゼ柏）、工事予算要求を行った。						
平成30年度	計画どおり	予定どおり、柏市民文化会館の空調、大ホール舞台床、トイレ修繕、アミュゼ柏の改修設計委託を行った。						
令和元年度	計画どおり	アミュゼ柏の空調改修工事、クリスタルホールの音響・照明改修工事を行った。						
令和2年度	完了（事業終了）	アミュゼ柏プラザの調光装置改修工事及び音響装置改修工事を行った。						
成果指標	指標名	設計・工事進捗率					単位	%
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値		0	33	66	99	100	100
	変更計画値	0		16	66	99	100	100
実績値		0	16	66	99	100	100	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)			・指定管理者募集の市側意思決定	・指定管理者事業提案(募集条件)への反映	・指定管理料の調整(人件費) ・休館期間の短縮	・指定管理料の調整(人件費) ・休館期間の短縮	後期:アミュゼ空調改修計画等への反映	

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	小貫省三	担当者	荻崎慶子			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	完了 (事業終了)	アミュゼ柏プラザの調光装置改修工事及び音響装置改修工事を行った。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	アミュゼ柏舞台音響改修工事(プラザ)				○	○	○		
2	アミュゼ柏舞台照明設備改修工事(プラザ)				○	○	○		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	新型コロナウイルスの影響を鑑み、年度当初早めに発注を行ったことから概ね計画どおり進んでいる。プラザの舞台音響・照明改修工事は1月中旬から3月上旬まで休館し、工事を実施する。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	設計・工事進捗率		計画値	単位	%	実績値	単位	%
	達成状況【成果】	達成		コメント	100		100		
	進捗状況【活動】	完了(事業終了)			今年度の大規模工事については、遅滞なく予定通りに終えた。また、アクションプラン全体計画期間中に予定していた工事・修繕は全て実施した。今後は予防保全的な修繕を計画的に実施する。				
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
計画値									
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	概ね予定どおりに目標達成ができた」と評価できる。					
	方向性	完了(目的達成)							

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B	
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	210400	水道部 配水課	責任者	柳本 哲也	担当者	工務担当	
	区分	取組内容・目標					
令和2年度	計画どおり	老朽管9.2km 重要施設管路2.5km 基幹管路1.3kmを更新した。管路耐震化率 31.9% 目標管路耐震化率 29.2% アクションプランとしては終了するが当該事業は、R57年度まで継続する。					
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	設計・積算・発注・施工監理		○	○	○	○	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	上半期に関し、順次、設計・積算を行い配水管改良工事9件を発注、1件は竣工しその他現在施工中で順調に進捗している。 下半期分についても6件を発注する。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	管路耐震化率		計画値	単位 % 29.2	実績値	単位 % 31.9
	達成状況【成果】	達成	コメント	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づく計画値に準じ、順調に進捗している。また、発注時期の平準化にも取り組み下半期分4件を発注し効率よく事業を行っている。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	コメント				
計画値							
評価	評価者	成島 正俊	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づき、引き続き事業を進め、建設コストにも注視しながら、発注時期の平準化にも注力していくこととする。			
	方向性	継続実施					

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A		
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31		
担当部署	270400	学校教育課 学校施設課	責任者	後藤 義明	担当者	建設・計画担当		
取組年度	H29	～	R2					
効果	その他改善							
最終目標	老朽化が進んだ学校施設については、建て替えではなく改修によって対応することで、コストを抑えつつ、安全性を確保し、衛生的な管理や機能の維持を図る。併せて、学習環境の多様化に対応できる設備整備を行うことで、児童生徒の学習環境の向上を目指すとともに、学校運営がしやすく、快適に使えるよう計画的に保全し、維持管理を行う。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度								
平成29年度	遅れている	モデル校である土小学校の校舎の老朽化対策計画を策定するにあたり、ワークショップを行い、その際出された様々な意見を集約し、その内容を反映した改修工事の基本計画を策定した。また、モデル校の学校施設を検証することで、柏市の全小中学校の老朽化対策実施に繋げた。また、屋内運動場については2校の改修工事と2校の実施設計を行った。実施設計の予定は3件であったが、そのうち1件については流山市の建築審査会の開催が3月中旬であったため、完了は平成30年5月末予定である。						
平成30年度	計画どおり	土小学校校舎長寿命化改良工事設計において、教育環境・長寿命化仕様について今後のモデルとすべく検討を行い、内容に反映させた。また、学校施設個別施設計画の策定を行い、今後の施設整備の方針を決定した。屋内運動場については、3校の改修工事、昨年度からの継続であった光ヶ丘小学校を含む4校の実施設計を行った。						
令和元年度	計画どおり	校舎長寿命化改良工事のモデル校で改修工事を行った。また、屋内運動場については3校の実施設計及び3校の改修工事を行った。						
令和2年度	計画どおり	校舎長寿命化改良工事のモデル校の竣工。1校の校舎長寿命化改良設計(令和3・4年度継続事業)に着手した。また、屋内運動場については1校の実施設計及び2校の改修工事を行った。						
成果指標	指標名	長寿命化改良した学校施設件数(工:工事, 設:設計, W:ワークショップ)					単位	件
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値			工2(設3, W1)	工3(設4)	工4(設6)	工7(設6)	16
	変更計画値	0			工3(設5)	工4(設3)	工3(設2)	10
実績値			工2(設2, W1)	工3(設5)	工4(設3)	工3(設2)	12	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額		0	0	0	0	0
		変更計画額		0	0	0	0	0
		実績額		0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)			建物を長寿命化することで、整備コストを平準化する。また、予防保全に切り替える足がかりとする。	建物の長寿命化を実施し、整備費用の平準化を行うとともに、予防保全へ切り替えを行う足掛りとする。	建物の長寿命化を実施し、整備費用の平準化を行うとともに、予防保全へ切り替えを行う足掛りとする。	建物の長寿命化を実施し、整備費用の平準化を行うとともに、予防保全へ切り替えを行う足掛りとする。		

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	270400	学校教育課 学校施設課	責任者	後藤 義明	担当者	建設・計画担当			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	計画どおり	校舎長寿命化改良工事のモデル校の竣工。1校の校舎長寿命化改良設計(令和3・4年度継続事業)に着手した。また、屋内運動場については1校の実施設計及び2校の改修工事を行った。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	校舎長寿命化改良工事(土小)			○	○	○	○		
2	屋内運動場長寿命化改良設計				○	○	○		
3	屋内運動場長寿命化改良工事				○	○	○		
4	校舎長寿命化改良設計(田中小)					○	○		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	校舎長寿命化の工事については二期工事に着手し、一期工事が出た課題を反映しながら解体工事及び内外装工事を実施している。設計については改修方針を定め、設計業務委託の入札手続を行っている。屋内運動場長寿命化の設計は改修計画方針が固まり、今後実施設計を行っていく。工事は解体工事が完了し、内外装工事を実施している。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	長寿命化改良した学校施設件数(工:工事, 設:設計, W:ワークショップ)		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					工3(設2)			工3(設2)	
	達成状況【成果】	達成		コメント	前年度からの継続事業として実施してきた校舎のモデル校である土小学校の工事が完了した。本工事にて老朽化対策がなされ、中長期的な維持管理コストの縮減につながるとともに、将来を見据えた学習教育環境が実現できた。この工事内で得た知見を活かし、現在実施している田中小学校の設計に反映していく。また、屋内運動場については、旭小学校及び田中中学校の工事並びに土中学校の設計が完了した。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	コメント							
	計画値								
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	概ね当初の予定どおりに達成できたと評価できる。今後も継続的に取り組まれたい。				
	方向性	継続実施							